

ミャンマー・ベトナム経済ミッションに参加して

株式会社 アテナ

取締役会長 渡辺 順彦

ミャンマー・ベトナム経済ミッションは、日本商工会議所の重要な政策課題である「中小企業の国際化支援」の活動対象として、大変有効な交流機会を両国政府と商工会議所首脳に提案してきたという認識を深めてまいりました。

4年前ASEAN諸国訪問ミッションにも参加して、ベトナム政府代表とドイモイ政策に基づく多岐に亘る投資テーマについて各省庁と懇談を拓げました。そして、日本資本が当時建設した工業団地まで視察に行きました。

4年という年月を経た現在、開発投資政策による実績をふまえて、政府は産業基盤を強化していくために、更に「裾野産業の育成と工業化推進」を掲げて、日本の中小企業進出に対して一層の誘致に期待を寄せています。現地インフラ整備が進展している状況の中、今回は計画投資省と日本商工会議所との間で実効的な提携覚書の交換をすると共に、商工省とも日本側からの要望に伴う意見交換と懇談会を重ねました。更にベトナム商工会議所会員企業と日本のミッション参加者との商談会が盛大に開催されました。

一方ミャンマーは私にとりまして初めての訪問国でした。長い軍政下から昨年ようやく国際経済への移行と転換を本格化しようとしている現政権下の政策説明会議で、日本側の要請案件に対する意見交換の懇談に同席しました。席上政府首脳大臣の改革決意と情熱が我々団員にまで伝わりました。

弊社事業は今回のミッションに直接応えられるインフラ産業と異なり、流通産業における通信販売事業をサポートするダイレクトマーケティングサービス業が本業です。両国ともまだまだ通信販売環境には時間がかかるようで、商談会場でも引合いはありませんでした。然し、このミッションで得た両国の国内情勢（過疎地域の若い女性に就業機会が少ない）から、就業希望者を日本へ派遣する新しい職業訓練・雇用システムの着想を得ました。

私は長年、当社事業とのコラボともなる福祉用具の製作販売と共に老人ホームの経営も手がけております。特に老人ホーム運営は私のライフサイクルとしてボランティア活動の柱になっています。日本の社会福祉業界では今後看護師

や介護士のいわゆる専門要員の不足が深刻な事態として懸念され、政府も外国人労働者登用を試行しておりますが、成果はまだまだ上がっておりません。そこで私は今回訪問した両国で接触した現地関係者との懇談の中で、日本へ両国の若い女性達の就業機会を提供する目的で、女性看護師や介護士を養成する新しい職業訓練・雇用システムの構想を思いつきました。特にベトナムの日本大使館専門官へ日本の実情を紹介しましたところ、専門官から国情からして今がよいタイミングだとアドバイスを受けました。日本大使館の協力と支援を具体的に得られれば、まず現地政府と日本の商社など事業化のスポンサーになってもらい得る関係者に支援を得て、職能訓練学校を設営してもらいます。日本では外国人受け入れ先として、職能資格試験教育機関を有している福祉大学（希望校がある）を設営。更に4年間に亘る就業受け入れ先施設を決定するというシステムです。勿論両国と連携して展開するこの構想を現地の大使館専門官と日本商社マンへ口頭で紹介いたしました。彼らから両国は日本と同じ仏教国であり、類似する文化と国民性を有しており、特に若い女性は高齢者看護・介護職に極めて向いているので実現性はあるとアドバイスをいただきました。さて日本に帰ったらこのマスタープラン実現化に向け動きたいと思います。

ミャンマーは経済金融制裁の緩和に伴い、莫大な投資マネー流入により不動産価格が100倍に暴騰し、雇用拡大への障害が起り経済に深刻なゆがみ・ひずみが発生して、インフレとバブルへの対応が危惧されているようです。

然し滞在中、ホテルからスーチー邸見学へ散策し乍ら、街頭で出会う庶民の表情は、他の東南アジア諸国に比べて「おっとり」とした、穏やかそうな風情が印象的でした。歴史の古さと仏教文化の史跡名所が多いにもかかわらずまだ「世界遺産」が1つも登録されていない今が、観光ツアーの密やかな隠れた穴場にならないでしょうか。